

舞鶴ホストタウン通信

2020年
10月
創刊号

～舞鶴市ホストタウン推進事業実行委員会会報～



エコカップアート（文化公園体育館）



柔道 ウズベキスタン代表選手団（2019年合宿）



レスリング ウズベキスタンジュニア選手団（2019年合宿）



市民交流会（2019年合宿）



ウズベキスタン文化芸術訪問団 来鶴公演

ごあいさつ

舞鶴市では、東京オリンピックにおけるウズベキスタン共和国の柔道競技・レスリング競技のホストタウンとして、既にスポーツだけではなく文化、経済など様々な分野で交流を深めています。昨年度はレスリング・柔道の選手団が当市で合宿をおこない、柔道選手団は合宿後東京で開催された世界選手権大会に出場し60kg級で銀メダルを獲得するなど、大活躍いたしました。

いよいよ来年はオリンピック代表選手団が舞鶴にやってきます。選手団が存分に活躍できますよう、市民をあげて今からその準備を進めたいと思っています。市民の皆様のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。



舞鶴市ホストタウン
推進事業実行委員会

委員長 内藤 行雄

東京五輪ウズベキスタンホストタウンの歩み

O'zbekiston Respublikasi Host Town

東京五輪
(2021)

舞鶴で
事前合宿

2020 オリンピック
レガシーへ



ウズベキスタン文化芸術訪問団の舞鶴公演
ウズベキスタン文化芸術訪問団が舞鶴で来日公演を実施。



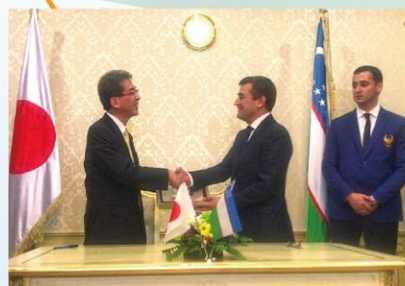
ウズベクレスリング・柔道選手団合宿
ウズベキスタンからレスリング・柔道の選手団が来日。舞鶴文化公園体育館で本番を想定した合宿を実施。



舞鶴市民訪問団・舞鶴市代表団がウズベク訪問
ホストタウン舞鶴市民応援団を中心とした舞鶴市民訪問団がウズベキスタンを初訪問。合わせて、舞鶴市代表団もウズベキスタンを訪問。



柔道衣の寄付
内閣官房ホストタウンアクション・リサイクル柔道衣支援事業で集まった107着の柔道衣をウズベキスタンへ寄贈。



舞鶴市公式訪問団のウズベク初訪問
多々見市長を団長とした公式訪問団がウズベキスタンを訪問。ウズベキスタン国家オリンピック委員会との間で、東京五輪のレスリング・柔道の事前合宿実施にかかる覚書を取り交わす。



ウズベキスタン展を開催

ホストタウン
推進本部発足

ウズベク大使が視察
ガイラト・ファジロフ駐日ウズベキスタン大使が舞鶴を視察。

ウズベクジュニアチーム合宿
ウズベキスタンからオリンピック委員会及びレスリング・柔道のジュニアチームが来日。舞鶴文化公園体育館で合宿を実施。



スルタノフ館長初来訪
ジャリル・スルタノフ日本人抑留者資料館長が初来日。



ホストタウン決定



給食でプロフ
市内全小学校の給食でウズベキスタン料理を提供。

ウズベク大使が初来訪
ファルフ・トゥルスノフ駐日ウズベキスタン大使が舞鶴に初来訪。



ウズベク合宿視察団が来訪
ウズベキスタンの五輪合宿視察団が舞鶴に来訪。舞鶴市とウズベキスタンレスリング協会及び柔道連盟との間で、事前合宿実施にかかる覚書を取り交わす。

2017

レスリング・柔道
事前合宿内定

国際交流員着任
ウズベキスタン人のレ・アルトゥル国際交流員が着任。

2018

2016

Jan.

Jun.

Oct.

Nov.

May.

Aug.

Oct.

Nov.

Feb.

Apr.

Jul.

Aug.

Oct.

Jan.

May.

Aug.

Nov.

2019

**フェルガナ州リシタン地方と
人材育成交流の覚書交換**

ガニシエル校長が来訪
フェルガナ州リシタン地方にある無償日本語学校「Noriko学級」のガニシエル・ナジロフ校長が来訪。

舞鶴市は、来年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるウズベキスタン共和国のホストタウンとなっています。

ホストタウンって何？ウズベキスタンってどんな国？など、ホストタウンの取組やウズベキスタンのことを広く市民の皆様にご覧いただき、一緒に取組を盛り上げていただきたいと思います。このたび舞鶴ホストタウン通信を創刊いたしました。ぜひご覧ください。

ホストタウンって何？

ホストタウンとは、地域の活性化等のため、東京五輪に参加する国・地域の住民等と、スポーツ・文化・経済などの交流を行う自治体のことをいいます。舞鶴市は2016年にウズベキスタンのレスリング競技・柔道競技のホストタウンに登録されました。

これまでに、ウズベキスタンのスポーツ大臣やレスリング競技・柔道競技の関係者が舞鶴市を訪れ、ホストタウンの覚書も交わしています。

京都府内では本市の他にも、京丹後市がオーストラリア、スペイン、ポルトガル、韓国のカヌー競技、亀岡市がオーストリアの空手競技、京丹波町がニュージーランドのホッケー競技、大山崎町がスイスのフェンシング競技のホストタウンに登録されています。



ウズベキスタンスポーツ大臣来鶴



舞鶴市にて覚書の調印式

ウズベキスタンとの交流のきっかけは？

第二次世界大戦後、ウズベキスタンには約25,000人の日本人抑留者が送られました。夏は最高気温が40度、冬は最低気温がマイナス20度にもなる、大変厳しい環境の中で日本人抑留者は水力発電所や学校などの建設に従事しました。

中でも、第4ラーゲル（収容所）の457人の抑留者により1945年～46年にかけて建設された国立「ナボイ劇場」は、1966年に首都タシケントで発生し、周囲の約7割もの建物が倒壊した大地震にも耐え、家を失った人達の避難所として活用されるなど、多くの人々の命を救いました。過酷な環境の中でも懸命に頑丈な建物を作った日本人の仕事ぶりが、ウズベキスタンの人々に深い感銘を残し、日本人のイメージとなって今の日本に対する友好的な気持ちにつながっています。

そのナボイ劇場を建設した日本人抑留者が、舞鶴港に引き揚げられています。このようにウズベキスタンと舞鶴市の間には、戦後の海外引揚が繋いだ深い縁があることからホストタウン交流が始まりました。ナボイ劇場は現在でもオペラやバレエの上演に使用され、ウズベキスタンの紙幣にも描かれています。



戦後の引揚の様子



日本人が建設したナボイ劇場



第4ラーゲル会

ウズベキスタンってどんな国？

ウズベキスタンは、日本からおよそ6,400km離れた中央アジアに位置しており、面積は日本のおよそ1.2倍、人口は約3,300万人、1991年にソ連崩壊に伴い独立した国で、人口の8割をウズベク人が占め、大多数がイスラム教徒の国です。国内の都市としては、首都タシケントのほか、ティムール帝国の繁栄を今に伝える美しい「青の都」サマルカンドを始め、シルクロードのオアシス都市ブハラやヒヴァなどの世界遺産都市があります。

また、ウズベキスタンは、国内から海へ出るためには国境を2回越える必要がある「二重内陸国」であり、この二重内陸国は世界の中でもウズベキスタンとヨーロッパのリヒテンシュタインの2国しかありません。



ウズベキスタンの位置



歴史的な街 サマルカンド

国際交流員レ・アルトゥルさん

舞鶴市の国際交流員であるレ・アルトゥルさんはウズベキスタンの首都タシケント出身で、現在は舞鶴市役所のスポーツ振興課で働いています。

通訳・翻訳や出前講座、ロシア語講座など幅広い業務を行っています。出前講座ではウズベキスタンの文化やホストタウンの取組について紹介していますので、ご興味がある方はお気軽にスポーツ振興課までご連絡ください！



業務に励むアルトゥルさん

オリンピック代表選手がやってくる！

舞鶴市は、ウズベキスタンのレスリング競技・柔道競技の東京五輪事前合宿を受け入れることが決定しています。これまでに2度、レスリング競技と柔道競技のウズベキスタン選手団を舞鶴市に受け入れ、プレ合宿を行ってきました。昨年度には、舞鶴市での合宿後、柔道代表選手団が東京都で開催された2019年世界選手権大会に出場し、男子60キログ級のルトフィラエフ・シャラフディン選手が銀メダルを獲得するなど、ウズベキスタンの選手は大活躍いたしました。



ウズベキスタン選手団 市長表敬（2019年合宿）



市民交流会（2019年合宿）

ウズベキスタンの日本語学校 「Noriko学級」

ウズベキスタンの東部に位置するフェルガナ州リシタン市には、Noriko(ノリコ)学級という日本語学校があります。Noriko学級は、1999年に1人の日本人が、ウズベキスタンの子供たちに日本語を教えたいという気持ちから設立した「無償で日本語を教えている学校」です。現在、Noriko学級では小・中学生を中心に年少から高校生まで、約60人の子どもたちが日本語の勉強に励み、大学レベルの日本語検定2級合格や2016年 CIS日本語弁論大会で優勝者を出すなど、素晴らしい成績を残しています。

舞鶴市では、リシタン市で日本語の習得に励む優秀な若い人材に対して「介護福祉」や「茶の栽培普及」、「工業・産業」の専門技術を身に付けていただき、舞鶴市や本国でその技術を生かしてもらおうと、人材育成などの交流に関する覚書を交換しています。



習字を習うNoriko学級の生徒



舞鶴市民応援団によるNoriko学級訪問

Noriko学級支援の募金 ご協力ありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響でNoriko学級の運営が困難な状況に陥ったと聞き、その運営を少しでも支援しようと「Noriko学級を支援する会」代表の永田 立夫さんが募金活動を始められました。

ホストタウンである舞鶴市といたしましても、Noriko学級との交流を続けていることから、日本語を学ぶウズベキスタンの学生を支援したいと考え協力を呼びかけたところ、市内外から予想を超える大きな反響があり、なんと642,254円もの募金が集まりました。

皆様からの温かいご支援、本当にありがとうございました。



Noriko学級の募金活動に協力した
日星高校

～ホストタウン舞鶴市民応援団員を募集～

東京五輪のウズベキスタンホストタウンとしての取組や、聖火リレー実施に向けた取組と一緒に盛り上げていただける舞鶴市民応援団の団員を募集しています。

- 大会前などの合宿時の交流やおもてなし、大会本番の応援、文化交流、ウズベキスタンやホストタウンなどの情報発信、聖火リレーの実施などについて、市民の皆様の手で応援・サポートする団体です。
- 個人でも団体でも、どなたでもご参加いただけます（18歳未満は保護者の同意が必要）。



QRコードからWebにアクセスし必要事項を入力していただくか、申込用紙（市窓口で配布。市HPからダウンロード可）を事務局へご提出ください。

発行
お問い合わせ先

舞鶴市ホストタウン推進事業実行委員会
事務局 舞鶴市 市民文化環境部 文化スポーツ室 スポーツ振興課
〒625-8555 舞鶴市宇北吸1044
【TEL】0773-66-1058 【FAX】0773-62-9891 【Mail】hosttown@city.maizuru.lg.jp